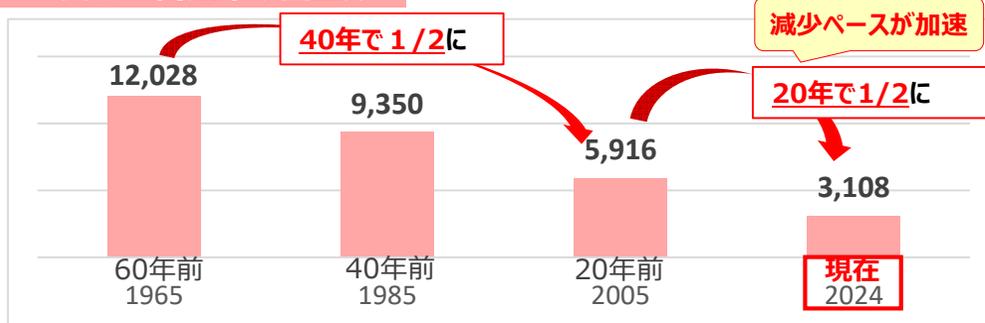


人口の現状、将来推計

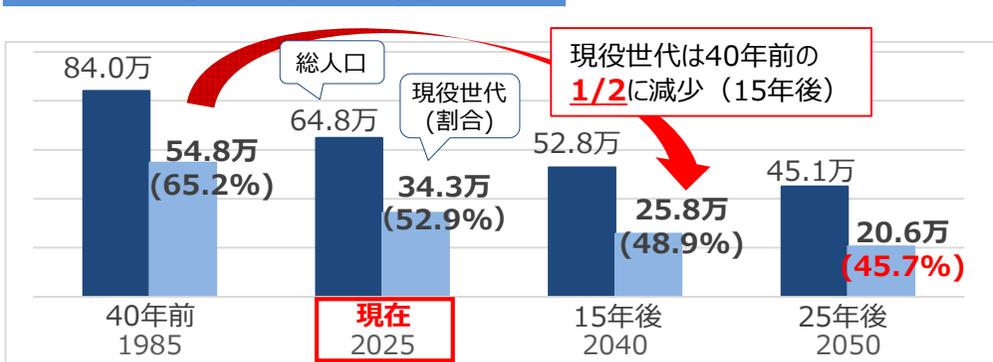
このまま少子化・人口減少が進むと・・・

- R6出生数は、**3,108人（過去最少更新）**。**60年前の1/4**。
- 高知県の人口は**減少の一途**。2050年には**45.1万人まで減少**見込。
- 現在、**9市町村で40年前から人口が半以下**に。（参考②）
- なかでも、現役世代（15-64才）の減少が深刻。
- 「人口戦略会議」は、県内**25市町村を「消滅可能性自治体」**とした。

<図1> 高知県の出生数



<図2> 県人口と現役世代人口



地域の持続可能性の危機

地域に子どもがいなくなり、**活力が失われる**



R6出生数が10人未満は10町村。20年後には14市町村に拡大。※

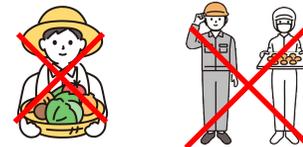
病院や診療所、銀行など**身近なサービスが受けられなくなる**



診療所が維持できるとされる人口1,800人を下回る市町村が現在の**4町村から25年後には11町村に拡大**。※

労働力不足が深刻化

あらゆる分野の**生産力や競争力が低下**



中山間地域で主要産業の後継者が「存在しない」集落**44.3%**（令和3年度高知県集落調査）

現役世代の**減少・年金給付水準の低下**



65歳以上を支える現役世代の人数2.1人(2020)⇒**1.4人(2050)**（国立社会保障・人口問題研究所 日本の将来推計人口（令和5年推計））

※国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」を基に推計

今が「ラストチャンス」という思いを共有し、**産学官民連携、オール高知**で人口減少対策に取り組む！

【参考①】市町村別の出生数の推移

	R元	R2	R3	R4	R5	R6
県計	4,270	4,082	4,090	3,721	3,380	3,108
高知市	2,256	2,163	2,199	2,006	1,792	1,666
室戸市	42	40	30	38	29	24
安芸市	75	77	66	69	61	54
南国市	363	315	326	289	286	279
土佐市	150	184	182	166	165	126
須崎市	92	86	102	84	73	57
宿毛市	111	82	92	83	69	65
土佐清水市	39	35	39	22	31	20
四万十市	216	219	172	175	164	155
香南市	225	209	214	211	194	187
香美市	119	146	127	115	114	83
東洋町	10	6	8	7	7	1
奈半利町	15	19	16	11	8	5
田野町	15	13	12	10	11	17
安田町	12	15	7	2	7	4
北川村	1	8	4	5	1	5
馬路村	3	6	2	1	4	4

	R元	R2	R3	R4	R5	R6
芸西村	17	20	13	17	12	10
本山町	20	11	10	10	10	10
大豊町	10	9	11	8	2	4
土佐町	23	20	17	17	16	16
大川村	6	0	3	1	1	2
いの町	105	104	108	98	75	87
仁淀川町	19	12	17	19	15	18
中土佐町	23	20	18	17	17	13
佐川町	58	53	59	41	54	46
越知町	27	18	26	22	16	6
橋原町	19	14	17	10	11	8
日高村	22	28	21	19	19	17
津野町	29	17	29	24	17	19
四万十町	75	79	77	70	53	44
大月町	18	9	22	9	9	18
三原村	5	6	7	4	4	3
黒潮町	50	39	37	41	33	35

※黄色着色は、令和6年の出生数が10人未満の市町村（34市町村中10町村）

（出典）厚生労働省「人口動態統計」（R元～R6）（日本人のみ）

【参考②】市町村別の人口の推移と将来推計

		40年前 (S60)		現在 (R7)	15年後 (R22)
高知市	高知市	312,241	330,956 県人口の 39.4%	311,188 県人口の 48.0%	270,644 県人口の 51.3%
	鏡村	1,804			
	土佐山村	1,376			
	春野町	15,535			
室戸市		25,309		10,108	5,769
安芸市		25,009		14,743	10,794
南国市		47,554		45,321	38,120
土佐市		32,147		24,524	19,352
須崎市		31,378		18,406	13,481
宿毛市		26,255		17,297	12,587
土佐清水市		23,014		10,795	7,138
四万十市	中村市	36,086	40,609	30,396	24,476
	西土佐村	4,523			
香南市	赤岡町	4,072	30,272	31,477	27,483
	香我美町	6,068			
	野市町	13,086			
	夜須町	4,833			
	吉川村	2,213			
香美市	土佐山田町	23,655	34,016	24,961	20,015
	香北町	6,079			
	物部村	4,282			
東洋町		4,708		1,903	1,230
奈半利町		4,870		2,730	2,169
田野町		3,814		2,272	1,618
安田町		4,306		2,014	1,407
北川村		1,815		1,074	734
馬路村		1,501		661	444
芸西村		4,739		3,558	2,947

		40年前 (S60)		現在 (R7)	15年後 (R22)
本山町		5,566		2,887	2,058
大豊町		8,830		2,733	1,558
土佐町		5,872		3,422	2,617
大川村		751		329	213
いの町	本川村	1,187	28,423	19,789	14,274
	伊野町	22,713			
	吾北村	4,523			
仁淀川町	池川町	3,019	10,333	4,087	2,559
	吾川村	3,961			
	仁淀村	3,353			
中土佐町	中土佐町	8,558	10,374	5,220	3,469
	大野見村	1,816			
佐川町		16,124		11,447	8,940
越知町		8,754		4,532	3,287
檮原町		5,407		2,934	1,918
日高村		6,341		4,508	3,364
津野町	葉山村	5,052	8,354	4,777	3,396
	東津野村	3,302			
四万十町	窪川町	17,231	25,622	13,851	9,872
	大正町	3,968			
	十和村	4,423			
大月町		8,596		3,903	2,537
三原村		2,156		1,289	930
黒潮町	佐賀町	4,958	16,009	9,177	6,567
	大方町	11,051			
		40年前 (S60)		現在 (R7)	15年後 (R22)
県計		839,784		648,313	527,967

※黄色着色は、40年前と比較して人口が半分以下の市町村（34市町村中9市町村）

（出典）国勢調査（S60）、高知県推計人口（R7.4.1）、日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計

若年人口増加に向けた取り組み

若年人口の増加

若年人口の減少傾向に、令和9年までに歯止めをかけ、令和15年頃には令和4年の水準まで回復させることを目指す



社会増減の改善



自然増減の改善

A 仕事の創出による若者の増加

政策1：魅力ある仕事をつくり、若者の定着につなげる



B 婚姻数の増加

政策2：結婚の希望をかなえる



C 出生数の増加

政策3：こどもを産み、育てたい希望をかなえる



政策実現に向けた条件整備



1 「共働き・共育て」の県民運動と意識改革の推進

2 中山間地域の持続的な発展

3 デジタル実装の土台づくり



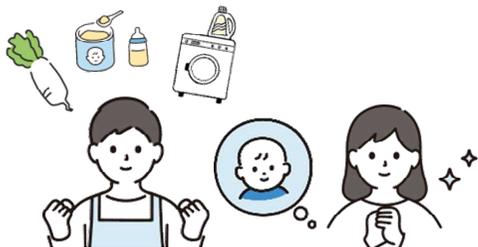
人口減少に適応する取り組み

持続可能な社会の実現を目指す4Sプロジェクトの推進

○消防の広域化 ○県立高等学校の振興、再編
○中央地域の公共交通の維持、確保 など

共働き・共育ては 高知の未来を育てる好循環

**女性の家事・育児負担軽減
による出生数増加**



男性の家事・育児参画を進めて
子どもを持ちたい人の希望が叶う環境を実現

自然増

「共働き・共育て」による
持続可能な地域づくり

社会増

**「家事・育児は女性」からの脱却で
若者や女性に選ばれる高知の実現**



男性の育休取得により、働き方改革を推進
若者や女性に選ばれ、誰もが活躍できる高知へ

官民協働で**未来を創るエンジン**として**「共働き・共育て推進会議」**を設立

共働き・共育ての生活スタイルの普及・定着を図るとともに、
社会全体で子育てを支える取り組みを**オール高知の県民運動**に！



子どもを持ちたいと思うすべての人の
希望が叶う社会を実現する

- 子育ては、**地域や職場など様々な場面での支え合いが不可欠！**
- 一人ひとりの小さな**“分担”**が、**子ども達と地域の未来を育てる。**
- 県としても、**地域全体で子どもの誕生を祝福し、子育てを支える環境づくりを全力で応援。**



高知県
Kochi Prefecture

全国初！

残業前提の働き方にNO！

多様な人材がそれぞれの力を発揮し、発展する社会をめざして

長時間労働を改善するために、時間外割増賃金率を1.5倍に引き上げます
一部の人材の長時間労働に頼らず、誰もが無理なく働ける環境を整え、
時間内に業務を終えることが当たり前の職場風土をつくっていきます



時間外割増賃金率1.5倍賛同宣言



男性育休100%宣言



勤務間インターバル宣言



女性の再就職応援宣言